



QOL指標

副会長 佐野文男

QOLとは

QOL (Quality of Life) は「生命の質」とか「生活の質」とかいわれ、これを漠然と理解することは可能であるが、明確な概念定義は未だコンセンサスを得ていない。しかし欧米、特に米国ではQOLに関する研究活動が盛んで、一般に「アウトカム研究 (Outcome Research)」と呼ばれ、QOLは医療の質を評価する上での重要な「医療アウトカム」の指標として明確に位置付けされている。従来の疫学研究では、罹患率、合併症発生率、死亡率などの客観的アウトカム指標が、その普遍性、定義の明確さ、個人・社会にとっての重大性などの理由から、広く一般に利用されてきた。しかしながら、近年のアウトカム研究では、住民や患者さんの主観的な評価指標を重要視することが大きな特徴であり、患者立脚型アウトカム (Patient based Outcomes) と呼ばれ、医療の評価においても医療の受け手である患者の視点に立ったアウトカムであるQOLこそが重要であると考えられるようになり、これを最も代表するものが健康関連QOL (HRQOL, Health related QOL) である。

QOLを構成する基本的要素

QOLは健康関連と限定したとしても、その測定目的によって計る内容は異なってくるし、また使用する尺度によって測定されるQOLの要素が規定される。

そこでQOLを構成する基本的な要素については以下のような国際的なコンセンサスができつつある。

1、「身体機能」: 階段を上れるか、服を着られる

かなど、2、「心の健康」: メンタルヘルス、気分の落ち込み、不安など、3、「社会生活機能」: 友人関係や付き合いの変化など、4、「日常役割機能」: 仕事や家事の変化など、さらに、痛み、活力、睡眠、食事、性生活なども重要な要素として含まれることがある。

これらの要素を測定する上で、QOLの最大の意義は患者の視点に立脚して行われることである。例えばADLは第三者の観察を通して評価されるのに対し、QOLは患者の健康度やこれに起因する日常生活機能を患者の目を通して患者自身に報告させているところに大きな違いと意義がある。

健康関連QOL指標

HRQOLは通常自己記入方式または面接による質問票によって評価される。種々の質問票がHRQOLの評価の目的によって提唱され使用されているが、それには信頼性 (調査を行う環境が異なっても、回答者とその状況が同じであれば同様の回答が得られる) 妥当性 (調査の目的とする問題が十分に含まれており、回答から得られる測定値により調査対象における特性を分別することができる) 反応性 (対象において変化が生じた場合に、それを測定値として把握することが可能である) を十分に備えていることが必要である。

HRQOL指標は大きく分けて、包括的尺度と疾患特異的尺度がある。

「包括的尺度」:

疾患特異性のない包括的な尺度は患者の視点に立脚した健康度およびこれに伴う日常・社会生活機能の変化を、計量心理学的な手法によって定量

的に測定することを目的に作成された尺度である。健康人を含めた全ての人を対象にできるため、大規模調査をすることによってその標準値を設定することができる。

日本語で利用できる代表的なものに、EuroQol (EQ 5D) やSF 36などがある。

EQ 5Dはあらゆる健康状態を5つの次元(移動の程度、身の回りの管理、ふだんの生活、痛み/不快感、不安/ふさぎ込み)に分解し、それぞれについて3段階に基づいて記述する(表)。その結果から効用値換算表を用いて「死亡」を0、「完全な健康」を1とした効用値を求めることができる。EQ 5Dは一般集団を対象とした健康状態の調査に用いられる他、糖尿病、脳卒中、リウマチ疾患、AID、肝移植などに用いられている。

SF 36 (MOS Short Form36) は36項目、8下位尺度(身体機能、心の健康、日常役割機能(身体)、日常役割機能(精神)、体の痛み、全体的健康)

表 日本語版EuroQo(EQ 5D)における5項目法の設問¹⁾

移動の程度

- 私は歩き回るのが問題はない
- 私は歩き回るのがいくらか問題がある
- 私はベッド(床)に寝たきりである

身の回りの管理

- 私は身の回りの管理に問題はない
- 私は洗面や着替えを自分でするのいくらか問題がある
- 私は洗面や着替えを自分でできない

ふだんの活動(例:仕事、勉強、家事、家族・余暇活動)

- 私はふだんの活動を行うのに問題はない
- 私はふだんの活動を行うのいくらか問題がある
- 私はふだんの活動を行うことができない

痛み/不快感

- 私は痛みや不快感はない
- 私は中程度の痛みや不快感がある
- 私はひどい痛みや不快感がある

不安/ふさぎ込み

- 私は不安でもふさぎ込んでいない
- 私は中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる
- 私はひどく不安あるいはふさぎ込んでいる

康感、活力、社会生活機能)から構成されている(図1)。それぞれに求められた数値を基に換算式を用いて100点満点の連続変数スケールに換算される。SF 36は幅広い分野に応用可能であり、これを引用あるいは使用している論文は急速に増加している。臨床のほとんど全ての分野で使用されているが、さらに、医学判断学、臨床試験、難病患者のQOL研究、介護者のQOLなど、その使用分野は広がっている。

「疾患特異的尺度」:

これはある特定の疾患グループに対してその特有の症状やその影響をより詳細に測定することを目的としている。その尺度はその対象となる疾患に罹患している人たちに限られるという欠点はあるが、臨床的な感受性は高いという利点を持っている。治療は必ずしも患者に恩恵のみをもたらすものではなく、一定の割合で身体的・機能的障害をもたらすことは避けられない。その障害は結果として様々な面に影響を及ぼすわけで、これを患者の視点から評価する。通常は健康関連QOLを測定する包括的尺度に疾患特有の症状や治療法などの関心事を下位尺度に追加して使用する。

この分野では、癌患者に対するQOL研究が熱心に行われているが(図2)、その他、ほとんどの疾病のアウトカム評価に使用されている。

おわりに

アウトカム研究の起源は1800年代後半のNight-ingleに始まるとされるが、1990年代からは患者立脚型アウトカムを用いた研究が活発化してきている。

医療におけるアウトカムは患者に提供された医療がもたらすエンドポイントを意味するものであ

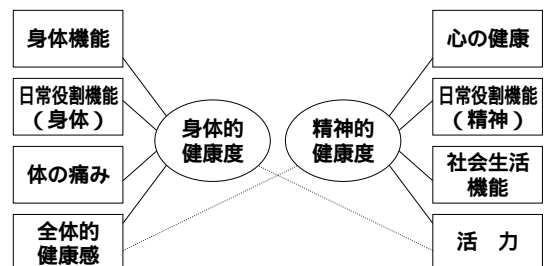


図1 SF 36の因子構造¹⁾

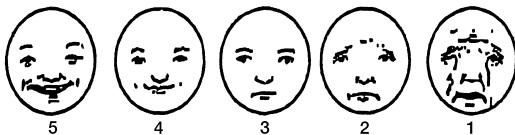
氏名: _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
年齢: _____ 歳 性別: 1.男 2.女 体重: _____ kg

この調査票はあなたの現在の状態を正しく理解するために用いるものです。ここ数日間のあなたの状態にあてはまると思われる番号にをつけてください。(個人のプライバシーが外部にもれたり、治療のうえで不利益になることは決してありませんので、感じたありのままをお答え下さい。)

(この数日の間)

- 1. 日常生活(活動)ができましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ 十分できた _____
 - 2. ひとりで外出することができましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ 十分できた _____
 - 3. 30分くらいの散歩はできましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ 十分できた _____
 - 4. 少し歩いてもつらいと思いましたが。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く問題なかった _____ 非常につらかった _____
 - 5. 階段の昇り降りができましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ 十分できた _____
 - 6. ひとりで風呂にはいることができましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ 十分できた _____
 - 7. 体の調子はいかがでしたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
非常に悪かった _____ 非常に良かった _____
 - 8. 食欲はありましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くなかった _____ 非常にあった _____
 - 9. 食事がおいしいと思いましたが。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
非常にまずかった _____ 非常においしかった _____
 - 10. 吐くことができましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く吐けなかった _____ よく吐いた _____
 - 11. やせましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くやせなかった _____ 非常にやせた _____
 - 12. よく眠れましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く眠れなかった _____ よく眠れた _____
- (この数日の間)
- 13. 何かに没頭(熱中)することができましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ よくできた _____
 - 14. 日々のストレス(いらいら)はうまく解消できましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くできなかった _____ うまくできた _____
 - 15. 集中力が落ちたと感じましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く感じなかった _____ 強く感じた _____
 - 16. 何か心の支えになるものによって勇気づけられていますか。(家族、知人、宗教、趣味など)
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全くない _____ 強く勇気づけられている _____
 - 17. あなたの病状に不安を感じましたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く感じなかった _____ 強く感じた _____
 - 18. 家族以外の人と接するのが苦痛でしたか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く問題なかった _____ 非常に苦痛だった _____
 - 19. あなたが治療をうけていることで家族に迷惑をかけていると思いますか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く思わない _____ 強く思っている _____
 - 20. あなたの将来の社会生活について不安を感じますか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く感じない _____ 強く感じる _____
 - 21. 病気による経済的な負担が気になりますか。
1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____
全く気にならない _____ 非常に気になる _____

22. ここ数日間の状態に相当する顔の番号にをつけてください。



最後に、もう一度、つけ落しがないか確認してください。

【医師・看護婦 記入欄】
 a. 1.入院 _____ 2.外来 _____
 b. PS _____
 c. 体重 _____ kg
 d. 記載日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 e. 備考 _____
 記載者 _____

図2 厚生省「がん薬物療法におけるQOL調査票(QOL ACD)」

り、医療提供側の評価ばかりではなく、EBMの実践においても患者の視点に立ったQOLを含む重要な情報 (evidence) を提供することが必要である。医療のアウトカム研究が発展することを期待する。

参考資料

- 1) 水谷信子: 保健婦雑誌、56(12): 1100、2000.
- 2) 尾藤誠司: 腎と透析、46(3): 335、1999.
- 3) 池上直己: ドクターサロン、45(4): 266、2001.
- 4) 池上直己、他編: 臨床のための「QOL評価ハンドブック」、医学書院、2001.4.
- 5) Fukuhara,S.et al : J.Clin.Epidemol.51 : 1037,1998.

お知らせ

特約融資制度のご案内

北海道医師会員を対象とした制度で、割安な利率で融資を受けることができます。

1. 資金使途

短期資金

運転資金

長期資金

運転資金、医療施設の改良設備資金、

防災施設設備資金、開業資金、

住宅購入資金、子弟教育資金

2. 融資限度額

現 開 業 医 長期資金 5,000万円以内

短期資金 500万円以内

新規開業医 長期資金 2,500万円以内

勤 務 医 長期資金 1,500万円以内

3. 融資締結銀行と利率 (H13.4.1現在)

都市銀行 [第一勧業、三井住友、東海、あさひ]

・ 短期貸出利率 (1年以内)

1.225% ~ 1.625%

・ 長期貸出金利 (1年超15年以内)

1.625% ~ 2.125%

地方銀行 [北洋、北海道、札幌、北陸、みちのく、青森、岩手]

・ 短期貸出利率 (1年以内)

1.725% ~ 2.125%

・ 長期貸出金利 (1年超15年以内)

2.125% ~ 2.625%

お問い合わせ・資料請求

北海道医師会 『会員課』(011 231 1434) E メール : kaiin@office.hokkaido.med.or.jp

(表紙写真)

仁淀川をおよぐコイノボリ

渡島医師会 水関 清

土佐の鯉職は水中を泳ぐ。高知市の西郊のまち、伊野町は和紙の産地。急峻な四国山脈にV字谷をうがち、流れ下って来た仁淀川は、太平洋に注ぐ手前で大きく川幅を広げ、伊野町内ではゆったりとした流れとなる。特産の水に強い和紙にさまざまな染色がほどこされて生まれた

鯉職は、端午の節句の頃、この流れの中をたゆとうように泳ぐ。

和紙職人の方々の遊び心から生まれた水中鯉職を川岸で楽しむ頃、海の幸初鯉の便りもきかれはじめる。